

マスコミ各位

令和5年5月29日（月）

沖縄県保健医療部ワクチン・検査推進課 感染症予防班

担 当：加藤、嘉数

電 話：098-866-2013

## 「令和5年度HIV検査普及週間」を実施します

令和5年6月1日（木）から7日（水）は、「HIV検査普及週間」です。この週間は、HIV検査の利用機会を拡大するとともに、広く県民に対して、検査・相談体制に関する情報提供を含む普及啓発を行い、HIV検査の浸透・普及を図る機会とするもので、毎年全国で一斉に実施されます。

令和5年度の沖縄県のHIV検査普及週間キャッチフレーズは、『「私は大丈夫」それ本当？受けようHIV検査』です。今回、県では、各保健所でHIV即日検査を拡充して実施します（別紙参照）。検査は予約制で、**無料・匿名**で受検可能です。受付時間など詳しくは、各保健所へお問い合わせください。また、令和3年から全国的に患者増加が続いている梅毒についても**無料・匿名**検査を実施しておりますので、同時に受検されることをお勧めします。

### 《 参考資料内容 》

- 1 HIV／エイズ（AIDS）について（資料 p. 1）
- 2 県内のHIV感染者／エイズ患者発生動向（1987年～2023年5月25日時点）
  - （1）HIV感染者／エイズ患者の届出状況（資料 p. 2）
    - ・2022年の報告数は、19件（HIV 9件、エイズ 10件）でした。診断時に既にエイズを発症している患者の割合は52.6%で、全国平均の約30%と比べて高い値を示しました。
    - ・これまでの累計報告数は485件で、2007年以後は年間約20～30件で推移しています。
    - ・2023年の報告数は、5月25日時点で8件（HIV 5件、エイズ 3件）となっています。
  - （2）男女別（資料 p. 2）
    - ・男性が95%（461/485）、女性が5%（24/485）となっています。
  - （3）年代別（資料 p. 3）
    - ・多い順に30代が35%（171/485）、20代が25%（123/485）、40代が24%（115/485）、50代以上が14%（67/485）、10代が2%（9/485）となっています。
  - （4）感染経路別（資料 p. 3）
    - ・同性間による性的接触感染が69%（336/485）、異性間による性的接触感染が19%（92/485）、不明が12%（57/485）となっています。
  - （5）都道府県別人口10万対HIV感染者およびエイズ患者報告数（2021年）（資料 p. 4）

- ・2021年の沖縄県のH I V感染者は人口10万対で全国2番目に、エイズ患者は人口10万対で全国1番目に多く、依然として感染が拡大している状況にあります。

(6) 都道府県別人口10万対H I V抗体検査件数(2021年) (資料 p. 5)

- ・2021年の沖縄県の保健所でのH I V抗体検査実施数は60件で、人口10万対で全国2番目に少なくなっています。

3 令和5年度H I V検査普及週間および通常時における各保健所のH I V抗体検査実施日時 (資料 p. 6・7)

4 梅毒について (資料 p. 8)

5 県内の梅毒患者発生動向(1999年～2023年5月25日時点)

(1) 梅毒の年別報告数(資料 p. 9)

- ・2022年の報告数は、統計が開始された1999年以降では最多となる133件(男性92件、女性41件)でした。
- ・2023年の報告数は、5月25日時点で57件(男性39件、女性18件)となっています。

(2) 梅毒の年代別報告数(資料 p. 9)

- ・近年では、20～50代以上に幅広く分布していますが、2022年は10代から6件の報告があります。

# 参考資料

- HIV／エイズ
- 梅毒

# H I V / エイズ ( A I D S ) について

- エイズは、「後天性免疫不全症候群」ともいい、H I V ( ヒト免疫不全ウイルス ) に感染することによっておこる病気です。
- H I V に感染してから2~3週間すると、軽い風邪のような症状がでることがあります。この症状は数日~10週間くらい続き、ほとんどの場合は自然に消えてしまいます。
- その後、数年~10年間くらいは何も症状はありませんが、体の中でH I V がひそかに広がっています。
- 何も治療をしないでいるとさらに進行し、微熱や下痢が続いたり、リンパ節が腫れたり、肺炎などを起こします。
- このような状態になると「エイズを発症した」「エイズになった」といいます。

## ■ 感染経路

- ①性行為、②血液を介しての感染 ( 注射器具の共用など ) 、  
③母子感染の3つです。

## ■ 検査と治療

- ・検査：保健所等で無料、匿名で受検できます。
- ・治療：陽性者には、県内の専門医療機関を紹介します。

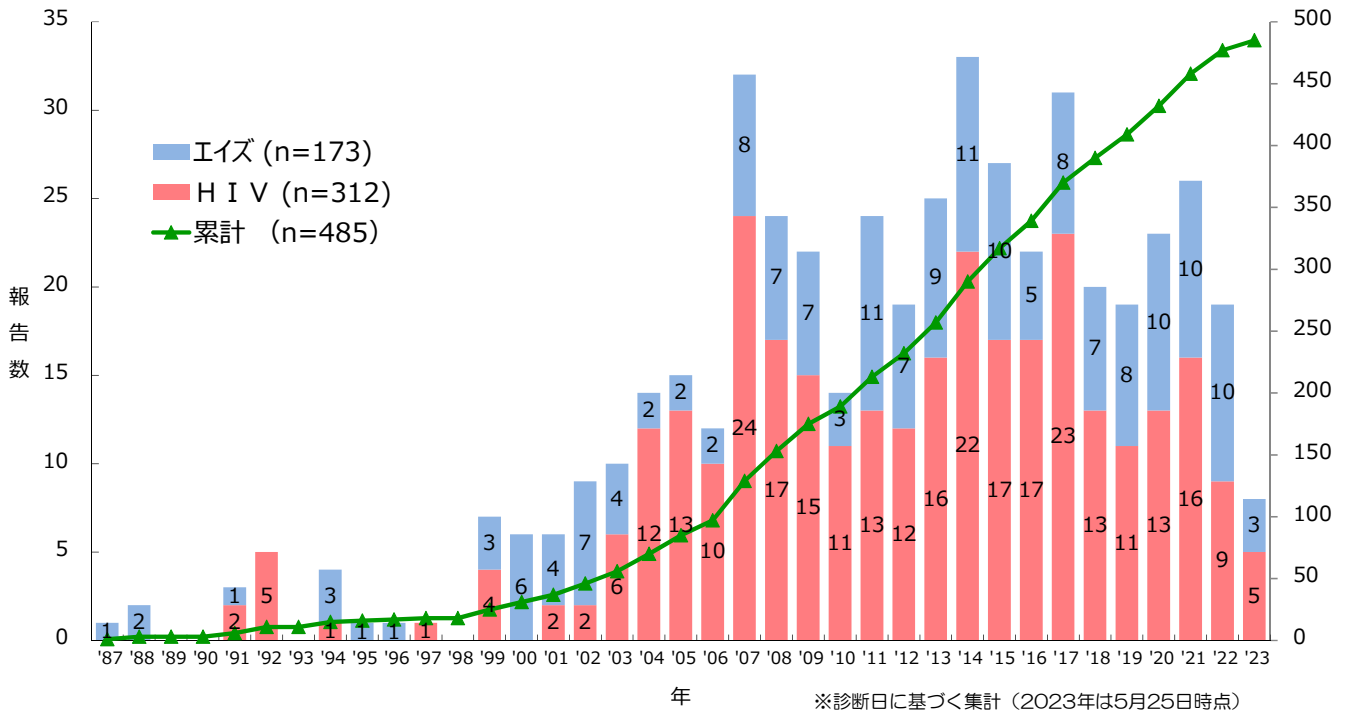
現在では、早期発見・治療により発症を防ぐことが可能です。  
感染者でも発症を防ぐことにより、通常の生活ができます。

## ■ 予防

H I V 感染の80%以上は性行為によるもので、コンドームを正しく使用することで予防できます。

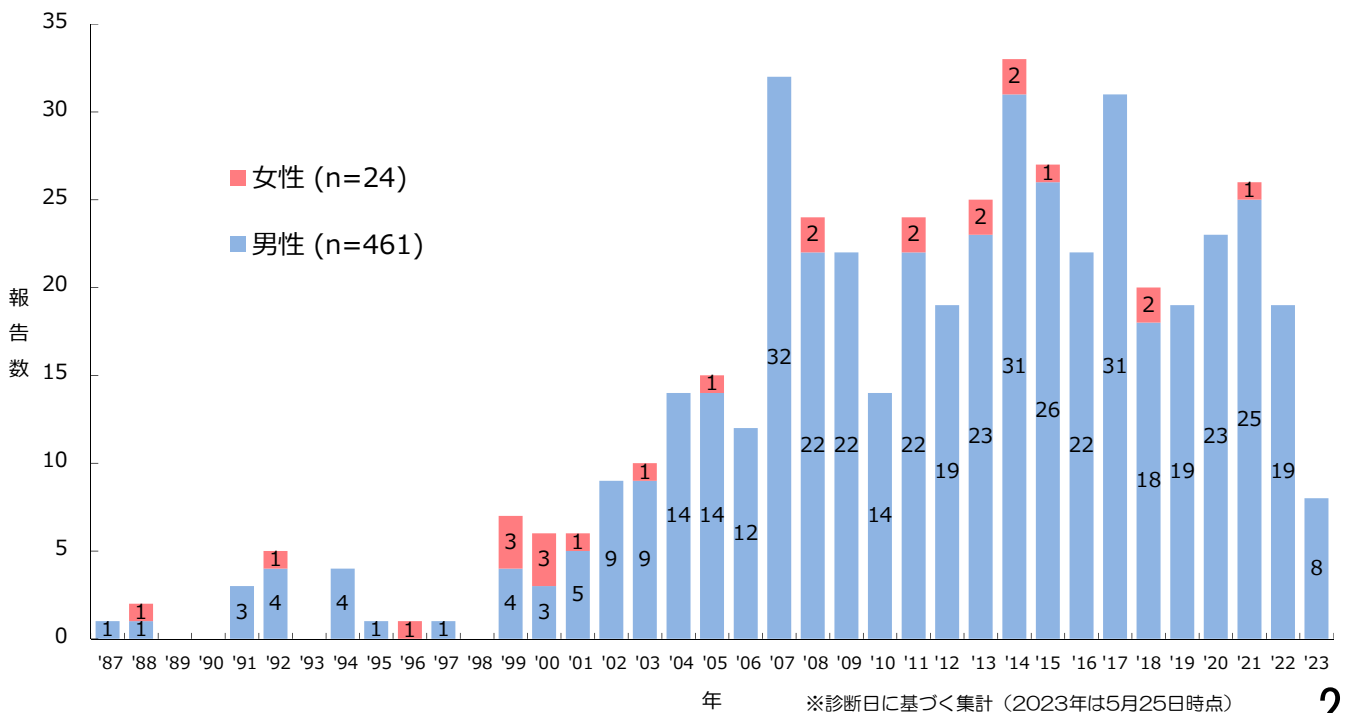
# 1. HIV感染者／エイズ患者の届出状況

- 近年は、年間約20～30件の報告がある
- 累計は485件（1987-2023年5月25日時点）



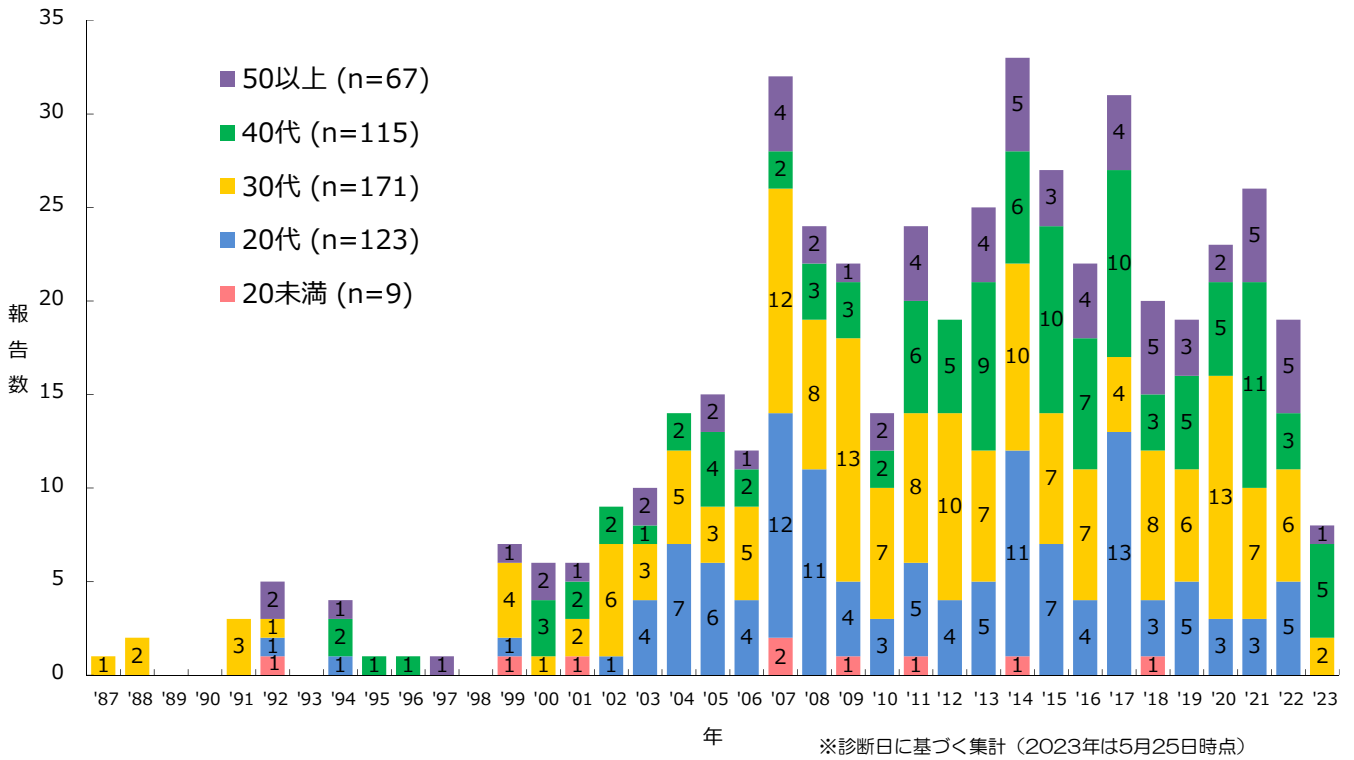
# 2. 男女別

- 2023年（5月25日時点）は、男性8件、女性0件
- 累計では男性が95.1%を占めている（男性461件、女性24件）



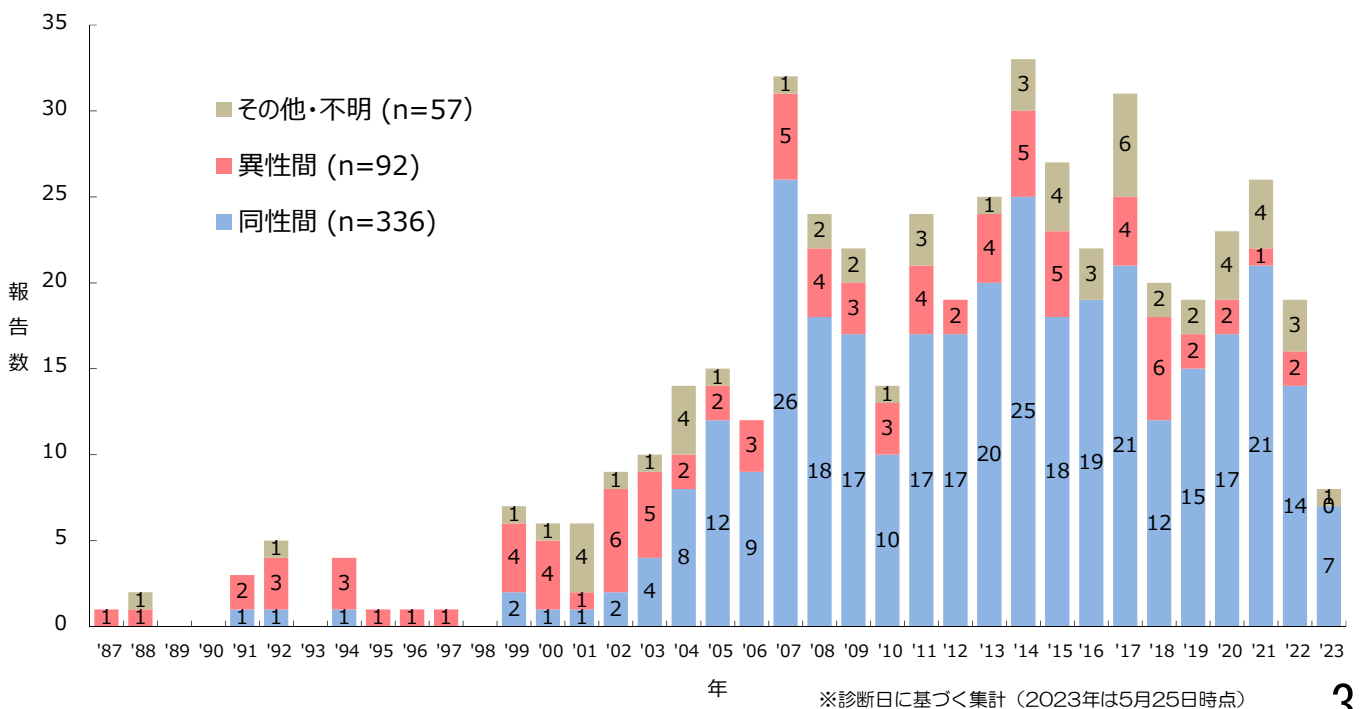
# 3. 年代別

・ 20～50代に幅広く分布している



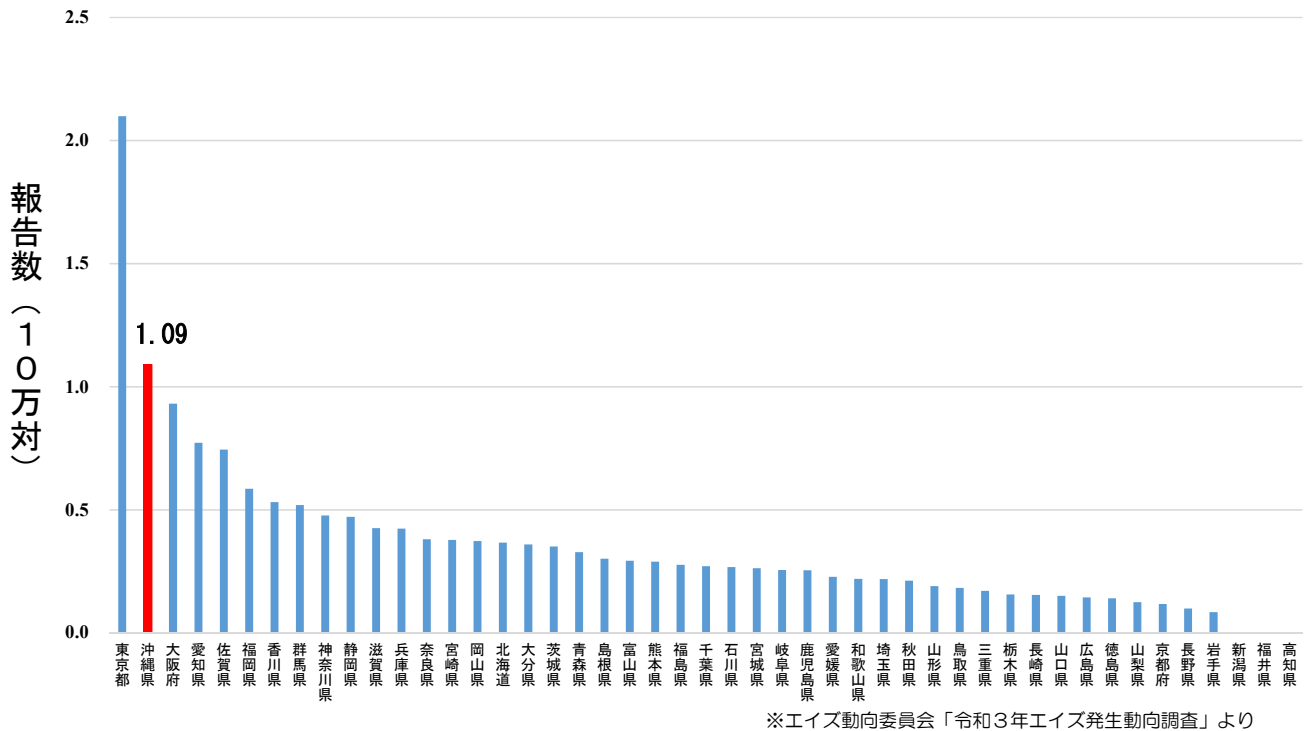
# 4. 感染経路別

・ 2005年以降、男性の同性間による性的接触感染が約6～9割を占めている  
 ・ 異性間による性的接触感染も、毎年数件確認されている



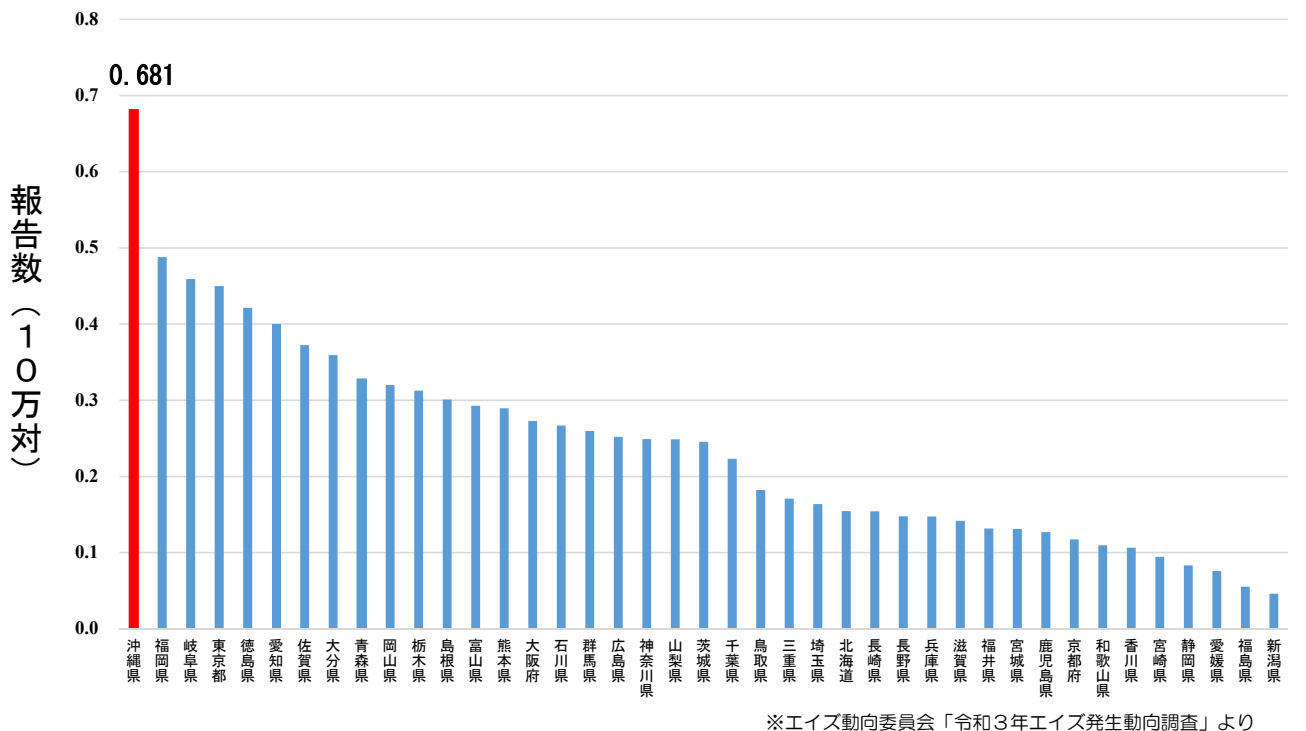
## 5. 報告地別 人口10万対H I V感染者報告数 (2021年)

・沖縄県のH I V感染者数は、人口10万人あたり 1.09人で全国で2番目に多い



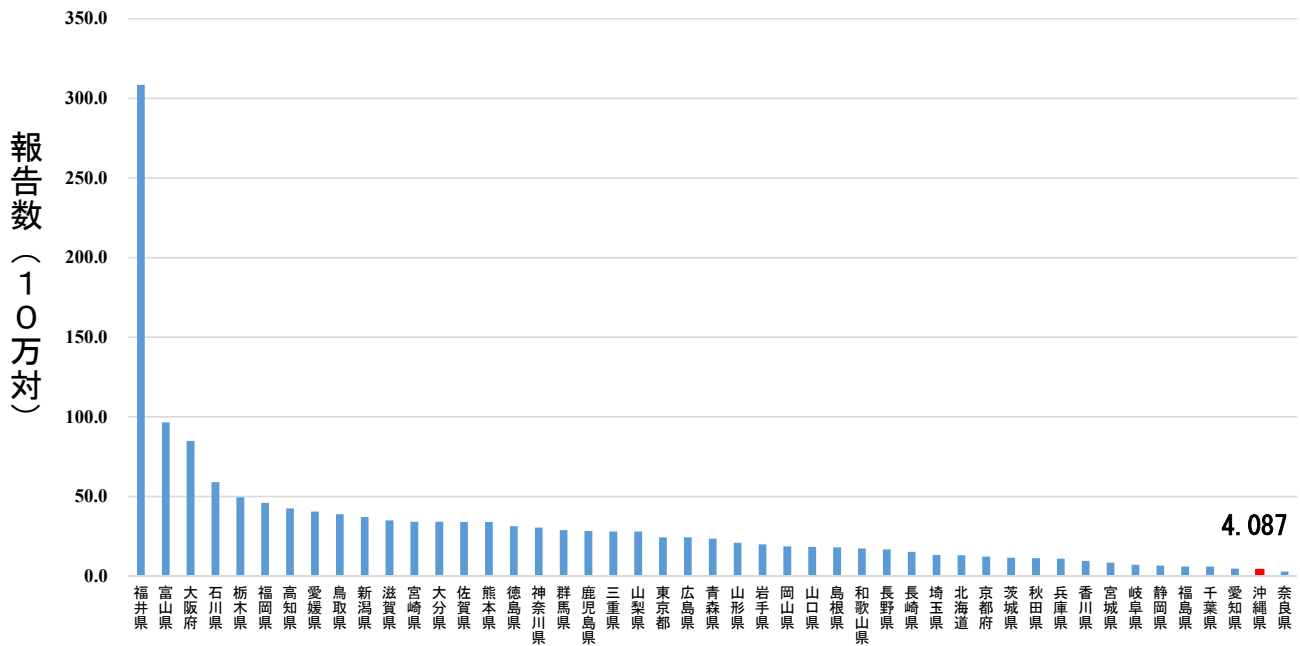
## 5. 報告地別 人口10万対 エイズ患者報告数 (2021年)

・沖縄県のエイズ患者数は、人口10万人あたり 0.681人で全国で1番目に多い



# 6. 都道府県別 人口10万対 H I V抗体検査件数 (2021年)

- ・ 沖縄県の保健所におけるH I V抗体検査数は、人口10万人あたり 4.087人で全国で2番目に少ない



※エイズ動向委員会「エイズ動向委員会報告」より



# 保健所でのH I V検査スケジュール（拡充）

## 令和5年度 HIV検査普及週間 検査日程

検査・相談機関名	問合先電話番号	検査実施日・時間	検査の種類	夜間	休日	予約
北部保健所	0980-52-5219	6/13（火）から検査再開予定	即日検査			必要
中部保健所	098-938-9701	[ 6/6（火） ] 9:00~10:30、13:00~14:00 [ 6/7（水） ] 9:00~10:30	即日検査			必要
南部保健所	098-851-3555	[ 6/1（木） ] 9:00~10:30、13:30~14:30 [ 6/2（金）、6/6（火） ] 18:00~19:00 [ 6/4（日） ] 9:00~10:30、13:30~15:00	即日検査	○	○	必要
宮古保健所	0980-73-5074	[ 6/1（木）、6/2（金）、6/5（月）、6/6（火）、6/7（水） ] 9:00~11:00、13:00~15:00	即日検査			必要
八重山保健所	0980-82-4891	[ 6/1（木）~6/2（金）、6/5（月） ] 9:00~12:00、13:00~16:00	即日検査			必要
那覇市保健所	098-853-7972	[ 6/1（木）~6/2（金）、6/5（月）~6/7（水） ] 13:00~14:30	即日検査			必要 予約開始日時 5/29（月） 9:00から

「即日検査」とは、問診・採血を実施してから、1~2時間後に検査結果をお知らせする検査です。

保健所でのH I V検査を、通常時よりも拡充（検査日の追加や休日検査、夜間検査の実施）しますので、ぜひこの機会に受検をお願いします

# 保健所H I V抗体検査スケジュール（通常）

## 令和5年度 HIV検査日程

検査・相談機関名	問合先電話番号	検査実施曜日・時間	検査の種類	夜間	休日	予約
北部保健所	0980-52-5219	第2・4火曜日 9:00~10:30 2023年6月より検査を再開予定です。 予約可能日についてはホームページをご確認ください	即日検査			必要
中部保健所	098-938-9701	毎週火曜日 9:00~14:00 毎週水曜日 9:00~10:30	即日検査			必要
南部保健所	098-851-3555	毎週木曜日 午前 9:00~10:30、午後 13:30~14:30 予約可能日についてはホームページをご確認ください	即日検査			必要
宮古保健所	0980-73-5074	毎週火曜日、木曜日 9:00~11:00、13:00~15:00 ※2023年6月より午後の検査枠を追加します。 予約可能日については直接お問い合わせください	即日検査			必要
八重山保健所	0980-82-4891	八重山保健所ホームページをご確認ください <a href="https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/hoken-yaeyama/kenko/kannsensyo/kensa_yoyaku.html">https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/hoken-yaeyama/kenko/kannsensyo/kensa_yoyaku.html</a>	即日検査			必要
那覇市保健所	098-853-7972	那覇市ホームページをご確認ください <a href="https://www.city.naha.okinawa.jp/nahahokenjyo/kansensyou/hiv/hivkensa.html">https://www.city.naha.okinawa.jp/nahahokenjyo/kansensyou/hiv/hivkensa.html</a>	即日検査			必要

「即日検査」とは、問診・採血を実施してから、1~2時間後に検査結果をお知らせする検査です。

# H I V検査が受けられる医療機関

現在、沖縄県内では8箇所の医療機関にて、有料ではありますが、H I V検査の受検ができます。

1. アドベンチストメディカルセンター  
電話：098-946-2833 住所：中頭郡西原町字幸地868番地
2. 中部徳洲会病院  
電話：098-923-1092 住所：中頭郡北中城村字比嘉801番地
3. なしろハルクリニック  
電話：098-877-7777 住所：浦添市屋富祖3-34-2 メディカルプラザたろう3階
4. クリニックおもろまち  
電話：098-868-2105 住所：那覇市おもろまち4丁目6-20
5. 名嘉病院  
電話：098-956-1161 住所：嘉手納町字嘉手納258
6. JOYレディースクリニックくもじ  
電話：098-943-2500 住所：那覇市久茂地1-8-16
7. 仲本病院  
電話：070-1990-5835 住所：那覇市古島1-22-1
8. ファミリークリニックきたなかぐすく  
電話：098-935-5517 住所：北中城村字喜舎場360-1

# 梅毒について

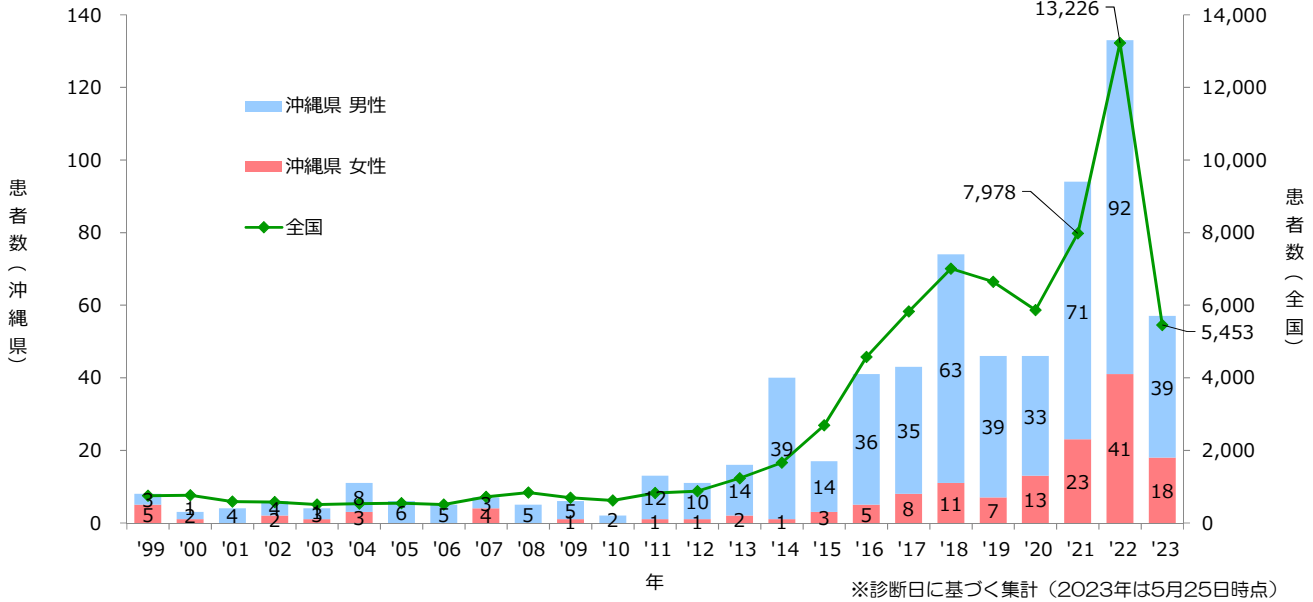
- 梅毒トレポネーマという細菌に感染することによっておこる病気です。
- 感染してから3～6週間ほどで、菌が侵入した局所に、痛みがほとんどないしこりや潰瘍ができたり、リンパ節が腫れますが、治療をしなくても数週間でなくなります。
- その後、4～10週間が経過すると、手のひらや足の裏を含む全身の皮膚や口腔内に発疹が出たり、脱毛、発熱や怠さなどの全身症状が出ます。これらも治療をしなくても数週間～数か月でなくなります。
- 上記の症状は再発することもあります。それでも治療せずに数年～数十年が経過すると、体にコブ状のしこりが出来たり、心臓や血管系の症状が出る他、認知症、手足のケイレン、体の麻痺などへ進行する場合があります。
- 妊娠中の女性が感染していると、体内の赤ちゃんへ感染し、流産や死産、出生後の赤ちゃんに難聴や歯の発育異常などの障害が出る原因となります。
- 感染経路
  - ①性行為、②血液を介しての感染（注射器具の共用など）
  - ③母子感染の3つです。
- 検査と治療
  - ・検査：保健所等で無料、匿名で受検できます。
  - ・治療：抗菌薬で治療ができます。
  - ただし、完治後も再感染する場合があります。
- 予防

梅毒への感染はほぼ性行為によるものです。コンドームの正しい使用は効果がありますが、完全な予防はできないため、不特定多数との性行為を避けることが重要です。

# 1. 梅毒の年別報告数

- 2021年以降、梅毒の報告数は全国的に増加傾向にある
- 感染症法による届出対象となった1999年以降では、2022年の報告数は全国・県内とも過去最高となっている
- 県内の2022年の報告数は、133件で男性92件、女性41件
- 2023年（5月25日時点）の報告数は、57件で男性39件、女性18件

全国及び沖縄県の梅毒患者届出状況



# 2. 梅毒の年代別報告数

- 近年では、20～50代以上に幅広く分布しているが、2022年は10代から6件の報告がある

梅毒患者の年代別届出状況

